



2018年6月吉日号 No.49

発行所

NPO法人 おいなんよ

長野県飯田市桜町 1-9-1

Tel 0265 (23) 1803

Fax 0265 (48) 5803

oinanyo-15@bz04.plala.or.jp

【URL】 <http://oinanyo.net/>

おいなんよ 2018年度開始です。

5月23日、第16回NPO法人おいなんよ定期総会が開かれました。全ての協議事項が承認されました。皆様に感謝し、ご報告いたします。2018年も、走り続け、地域になくはならない存在に近づきたいものです。今後も、皆様の応援・激励・共走 エトセトラ 宜しくお願い致します。

最近は、“地域包括ケア”“共生ケア”が叫ばれています。今回の介護保険改正により保険上も共生ケアが可能となりました。障がい者ケア、共生ケアを実践している「かいご家」の松本徳弥さんの話はとても興味深いものでした。気取らない彼女ですが、度量の広さ・深さには、恐れ入りました。

前後しますが、5月10日には第10回マリンバ・ピアノコンサートを創造館で開催しました。“継続は力なり”ということ強く感じました。会場の一体感が毎回、増して来ました。老いも若きも一緒になって音楽を楽しんだひと時でした。「信濃の国」は6番まで演奏され一緒に歌いました。ピアノの木下晴美先生も会場の一体感に花を添えていただき、第10回ということに恥じない内容となりました。皆様にお礼申し上げます。

理事長 佐藤 敏子



← 第16回総会 講演 飯田市いんご庁舎 3F

講師：「(有)かいご家 代表 松本 徳弥氏」
南箕輪村で介護保険事業、障がい者支援事業をされています。この頃は「かいご家のうどん」販売を手がけ多角経営に乗り出しました。「かいご家レストラン」が開店されるのも夢ではありません。

第10回記念マリンバ&ピアノコンサート H30.5.10

マリンバ：Twinkling Duo II

ピアノ：木下 晴美さん

前半は何時ものようにマリンバの音色を楽しみ。会場の皆さんはマリンバの音色に酔い、曲に合わせて大きな声が出てました。アンコールでは拍手喝采で「まだ聴きたいよう」と声が挙がり皆さん堪能したご様子。後半は、木下晴美さんのピアノ演奏。聞く方も聞かせる方も初めて。ご近所さんも晴美先生も感激！！

それを聞いたおいなんよも感激！



花束贈呈は
めいちゃん
そらちゃん



おいなんよ合同新年会

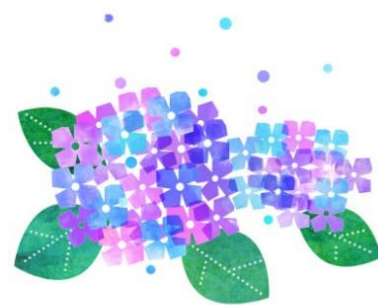
出席者：各事業所運営推進委員、おいなんよ役員、各管理者

日時：平成30年2月22日（木）10：00～

場所：伊賀良公民館

講師：伝田 景光氏 『認知症家族の会 長野県支部代表』

『宅老所 のぞみ 代表』



海外協力隊で海外から日本を観ることで

視点の違いと当り前が当り前でない空間を大切にした。

何を言ったかでなく、どんなふうにしたかが大切だと話された。

伝田さんの持っているフィーリングで魅了したわずか1時間の講演でした。講演時間が1時間でご免なさい。

サテライト 松島 交流会 H30.3.10

昨年まで「さくらまち」と合同の交流会でした。今年から独り立ち。初めての昼食交流会が開かれました。

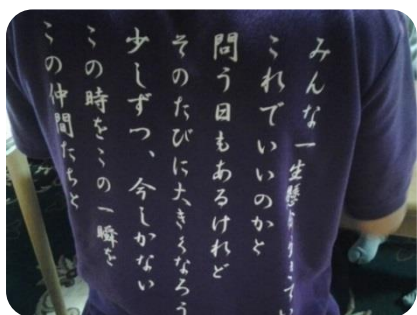
45名出席で席の位置を工夫し、段ボールで縮図してから考えました。ご利用者さまと家族の自己紹介から始まり職員の自己紹介、一年間の「松島」での生活風景をスクリーンで皆さまにご覧いただきました。常に2時間も座ってられないご利用者さまがご家族の隣で皆さんと楽しく過ごす事が出来ました。「**ご家族の力は偉大です**」



24時間テレビ「愛は地球を救う」で戴きました

《 トヨタエスクァイア 福祉車両 》

贈呈日H30.3.14



みんな一生懸命生きている

これでいいのかと

問う日もあるけれど

そのたびに大きくなろう

少しずつ、今しかない

この時をこの一瞬を

この仲間たちと



編集後記

「天安門事件」を知っている人が何人いるだろうか。今年29年を迎えた。今でも鮮明に覚えている。中国に民主化が進んでいた矢先、天安門広場に集まった人々を中国共産党が「学生運動」として武力と圧力で鎮圧した。眼鏡を掛けた青年が叫び、日本の学生運動を思い出した。その後、中国はあらゆる「民主化の風」を制圧。日本の学生の一部は赤軍派として虚しい結末を迎えた。でも中国は「民主化の風」は「忘れてはならない天安門事件」として米国で映画が作成された。大陸中国の民衆はグローバルだ。(い)